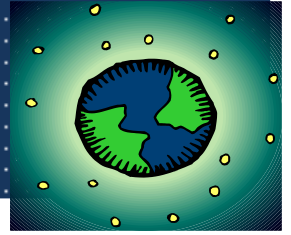


読書の窓 9月に読みたい本

月・宇宙に関する本



『よく分かる宇宙と地球の姿』

国立天文台／編 丸善

月の満ち欠けはなぜ起こるのか？日食と月食はなぜ毎月起こらないのか？宇宙には何があるのか？月・宇宙に関する疑問や謎が分かりやすく説明されています。地球科学の魅力がたっぷり詰まった1冊です。

『月世界大全』

太古の神話から現代の宇宙科学まで』

ダイアナ・ブルートン／著 青土社

月に関する太古の神話、フォークロア、美術、考古学から、最新の宇宙科学にいたるまでが集められ、美しい写真や絵画とともに収められています。不思議でロマンティックな世界観が味わえます。

『文科系のための暦読本』

古今東西の暦の「謎」を読む』

上田 雄／著 彩流社

天文学や数学が苦手でも大丈夫。この本では、暦のルール、暦の起源や歴史のほか、暦にまつわる様々な謎や不思議も取り上げて解説しています。日々の暮らしに欠かせない暦、その奥深さに触れてみませんか？

『宇宙のかけら』

竹内 薫／著 講談社

猫のカロアを通して、宇宙や生物の生死を語った科学絵本です。「量子」「インフレーション」「ビッグバン」など、宇宙物理学の専門用語もわかりやすく解説されており、宇宙の成り立ちから未来のことまでカラーイラストを見ながら楽しく理解できます。

今月の特色コーナーでは、イーハトーブの童話詩人「宮沢賢治」を紹介いたします。

37年間の生涯に、約800編の詩、約100編の童話をはじめ、多くの作品を生み出した宮沢賢治。彼の心の風景を覗いてみませんか？

- ・『宮沢賢治詩集』 宮沢賢治／著 教育出版
- ・『少年少女のための日本名詩選集・8 宮沢賢治』 萩原昌好／編 あすなる書房
- ・『よくわかる宮沢賢治 I』 石ノ森章太郎・菅原千恵子／著 学習研究社
- ・『賢治宇宙』 宮澤賢治／著 パロル舎
- ・『ジュニア文学館 宮沢賢治 ③』 栗原敦／編 日本図書センター
- ・『写真集 宮澤賢治の世界』 布川角左衛門／発行 筑摩書房

